

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

中野地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

当プラザの担当エリアは、高齢化が非常に進んでいる地域と、駅に向かってはマンション等に居住する子育て世代も多い地域が混在しており、幅広い年齢層・世代の多様なニーズに沿った事業展開を図りました。

また地域の課題も多様化、複雑化していますが、各部門がそれぞれの専門性を活かし連携した支援を行えるよう努めています。

地域の活動としては福祉保健計画の推進が住民主体で積極的に行われていますが、一方では後継者が少ないことも不安材料となっています。担い手不足はどの地域でも共通課題となっていますが、地域活動へと繋がる人材の発掘、育成に重点を置き、各事業とも工夫して取り組んでいます。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

6 月には本郷第三地区民生委員・児童委員協議会の要請により、障害者理解のための研修会を依頼されて、「セルフ杜の取り組みを通して障害理解を考える」と題して出前講座を実施しました。また 3 月には本郷第三地区支えあいネットワーク全体会の中で、アウトリーチパートナー研修を企画実施の支援をして、地域の活動者を中心に約 80 名の参加を促すことができ、今年度生活支援課が実施した各ケアプラザでの同研修の中で最大の集客をはかることができました。

さらに、11 月と 1 月の 2 回にわたり、生活困窮者自立支援制度の取り組みとしておこなった「自炊力アップ事業」において、区内ケアプラザとしては唯一協力実施をしました。

これら全ての取り組みは総合相談としての「入り口」である地域包括支援センターとしての役割の周知と、さらにその先を見据えた、根本的課題である孤立予防のための「出口」にまで繋げていく大切な取り組みであったと思っています。

(2) 各事業の連携

地域活動交流と地域包括支援センター、生活支援コーディネーターがそれぞれの業務の特性を活かした情報収集を行い、またその情報を合同会議等で共有し効果的な地域支援にあたりました。具体的にはインフォーマルサービスの立ち上げや活動支援、ボランティア講座の共同開催等、各事業における専門性をつなぎ合わせ、支えあえる地域づくりを推進しました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・包括支援センターでは年度を通し加配置分の人員の確保に至らず、1名欠員の状況となりました。
- ・各部門とも積極的に外部研修への参加を行い、個々の専門性を高めるとともに、参加した職員による伝達研修を実施するなど、職員全体の資質向上に努めました。
- ・公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対し公正中立な立場で業務にあたりました。特に介護保険事業関係においては、相談者の意志を尊重した事業所の選択を心掛け、事業所の一覧を提示する等、複数の選択肢があることを相談者が分かるよう取り組みました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・地域の方々と協力し合い、安心して暮らせる豊かな地域づくりに向けた活動を円滑に進められるよう、「さかえ・つながるプラン」における地区別計画推進においてネットワークづくりに取り組んでいます。推進母体となる支えあいネットワークでは事務局として区役所、区社協と協働して、運営が円滑に運ぶようサポートしました。
- ・地域のボランティア団体が繋がり持つことで、より活動が活発になるよう交流会等の開催や、貸館登録団体が情報交換を行える場としての連絡会を実施しました。

(5) 区行政との協働

- ・セーフコミュニティ事業について、のぼり旗やロゴマークの活用など地域住民への啓発、周知活動に努めました。
- ・区役所の担当ケースワーカーや保健師と日常的に情報を共有し、相談者や地域の要援護者の支援にあたるほか、定例の区・包括会議を活用し困難ケースなどの支援方法の検討を行いました。
- ・生活困窮者支援事業として、自炊力UP事業やアウトリーチパートナー研修の開催など生活支援課への協力を行っています。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ケアプラザの事業や役割がより広く地域に周知され、幅広い世代の交流の場となるような講座を工夫し、開催しました。高齢者や障がい児、子ども関連支援事業を包括支援センター、生活支援コーディネーターや関係機関との連携のもと、実施・運営しています。
- ・地域の学校との連携を密にして、年齢に応じた福祉教育も実施しています。今年度は、桜井小学校の3年生の総合学習の時間を利用した学びを、そして、本郷小学校の1・4年生の人権週間に向けた福祉教育に関わることが出来ました。担当

の先生方や区社協の担当とカリキュラム作成から関わらせていただき、「地域に暮らす様々な人々との関わりを通じて、障がい者や高齢者・認知症などについても正しい理解をってもらう」ことを大きなテーマとし、地域での見守りや支えあいの活動を知ることから、思いやりをもって行動できるきっかけ作りや、地域の中で暮らす今の自分に出来る事について考える機会のサポートを行いました。カリキュラムの実施には、包括、生活支援、居宅、デイの各部門のほか、区社協、地域の活動者、地域の施設など多くの方々にご協力いただきました。

・地域の高齢者・障がい者の生活支援ボランティアグループ「おたすけボラ・中野」の活動サポートも継続的に行っていますが、年々、メンバーの高齢化や人材不足が課題となっています。そのため、今年度は新たなメンバーの発掘・育成を目的とした4回連続講座「健康づくりにボランティア」や、地域の中に「おたすけボラ・中野」のようなちょっとした困りごとを支えあう人材やグループを新たに生み出していく「Let's ちょいサポ 2019」を包括部門や生活支援コーディネーターと協力して実施しました。講座からすぐに担い手に繋がる方は少数ですが、講座終了後も参加者との関わりを継続しながら、地域の活動者を増やす為の取り組みをコツコツと続けていく必要性を感じています。

・今年度は新たな試みとして、地域を知りながら歩く内容で連続講座を行い、講座終了後も、趣味を楽しむ仲間を増やしながらかケアプラザに集う機会を用意し、自主グループの立ち上げへ繋げるサポートをするなど、地域活動への興味付けを行っています。次年度以降もグループが自主化して軌道に乗るまで運営等のバックアップしていく予定です。

【定期事業】

- ・ふれあいの会 (22回/年・地域サロン：高齢者支援事業)
- ・おたすけボラ・中野 (適宜/地域高齢者・障がい者生活支援事業)

【子ども・子育て支援事業】

- ・山田陽治さんによる「自然の楽校」 (4月開催)
- ・おやこのひろば (共催事業) (5・7・10・2月開催)
- ・小学生工作教室「クラフトテープでカゴづくり」 (8月開催)
- ・子育て応援講座「親子ですぐに役立つ防災の知恵」(共催事業1月開催)
- ・桜井小学校3年生 福祉教育 (11月開催)
- ・本郷小学校1年生 福祉教育 (12月開催)
- ・本郷小学校4年生 福祉教育 (11月・3月開催 全4回)

【ボランティア関係・地域支援等】

- ・地域力UP講座 (共催事業 4回連続 5～6月 計4回)
- ・地域力UP講座 第2弾～地域の歴史を歩こう・知ろう～ (7月開催)
- ・地域力UP講座 第3弾～荒井沢の秋の草花を愛でるウォーキング～ (9月開催)
- ・健康づくりにボランティア (共催事業 4回連続 10～11月 計4回)
- ・Let's ちょいサポ～2019 (共催事業 3回連続 1～2月 計3回)
- ・よこはまシニアボランティアポイント講習会 (11月開催)
- ・なかのDEライブ～喜楽に文化祭～ (ボランティア交流・発表会 9月)
- ・スーパの会 (6回/年：共催事業)

- ・からだと心にやさしいスープ講座（共催事業 2月開催）
- ・おせち料理で食そう「こんにゃくづくり講座」（共催事業 12月開催）
- ・貸館利用団体合同連絡会（8月開催）
- ・貸館調理室利用団体合同連絡会（Xmas クリーンパーティー）（12月開催）
- ・20周年記念祭（共催事業 12月開催）
- ・若年性認知症の集い「笑風の会」（3回／年：共催事業）

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・登録団体の福祉保健活動に必要な情報提供を貸館抽選日や受付時などに行い、活動の活発化のサポートをしました。
- ・経年数による備品や設備等の劣化が著しい中、利用者が不便なく出来るだけ快適に貸館を利用できるよう、備品等の更新を計画的に行い利用環境の整備に努めました。
- ・日頃からケアプラザを利用して趣味やボランティア活動を行う団体向けに、活動内容の紹介・発表・新たな仲間づくりの機会の提供を行う「なかのDEライブ」を地域の誰でも気軽に集える文化祭形式で開催しました。今年度は、運営側のサポートにも有志の団体・個人の方々に参加して頂きました。次年度は、更に企画段階から参加を募り、地域の方々の手で作り上げるイベントにしていく予定です。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア同士の交流や協働の場をコーディネートしていく中で、ボランティアのネットワーク構築のサポートにも努めています。
- ・「よこはまシニアボランティアポイント」登録研修会（11月）を開催し、ボランティアの意欲の向上や、個々の活動の幅を拡充できるよう支援しました。
- ・地域の高齢者・障がい者の生活支援ボランティアグループ「おたすけボラ・中野」の事務局として、引き続き活動のサポートを行っています。広範囲の地域からの依頼増加や、ニーズが多様化する中、活動者のスキルアップのための講座や新たな協力者の発掘にも努め、活動に繋げました。
- ・ボランティアを育成する為の連続講座を他部門（生活支援など）と協働して積極的に開催し、地域のニーズに合わせた新たな協力者を発掘・育成するためのサポートを行いました。
- ・ウォーキングなど趣味を楽しむ講座の開催から、新たな仲間づくりや地域活動への協力のきっかけ作りもコーディネートしています。
- ・本郷第三地区支えあいネットワークのボランティア分科会や高齢者等関連分科会と協働し、地域の担い手向けに「認知症理解」、「障がい理解」などのスキルアップ研修を行ったり、活動者同士の意見交換の場をコーディネートしました。なお、3月のネットワーク全体会では区と協働して「アウトリーチパートナー研修」も実施し、生活困窮やひきこもりの方についての理解を、地域の活動者に広げるきっかけ作りのサポートを行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・自治会・町内会や地域の福祉関係団体の会議・行事に積極的に参加し、関係者との交流の中で情報の収集に努めました。
- ・登録団体の福祉保健活動が活発化するように、必要な情報提供を貸し館抽選日や受付時などに行いました。
- ・広報誌「杜からの風」を定期的に発行し、生活に密着した福祉保健情報やケアプラザの事業について情報発信を行い、地域住民の福祉保健活動や出会いのきっかけとなるような広報誌づくりを目指しました。
- ・ホームページの更新を定期的に行い、最新の情報を提供できるよう努めました。
- ・広報さかえや地区のタウンニュース、回覧板・掲示板を活用し、自主事業の情報の発信や広報誌などを配布しました。また、館内のパンフレットスタンドを常に見やすく整理し、地域の来館者の求める情報を分かりやすく、気軽に持ち帰れるように努めました。
- ・年2回、貸館利用団体連絡会を開催し（全団体向け8月、調理団体向け12月）、登録利用団体からのご要望、プラザからの利用時のお願いや清掃方法の確認や災害時の対応など情報交換の場を設けました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

高齢となっても住み慣れた町で安心して暮らしていくための‘顔の見えるつながりづくり’を目標に、区内・所内で連携を図りながら活動をしました。区と包括の定例カンファや5職種連携会議において、各所・各部門で把握している地域課題の共有や個別課題と地域課題の融合を行い、その解決のための取組や地域への提案を検討・実施しました。また、単位町内会自治会やちょこボラグループ、地域福祉保健計画推進の会議においては、様々な立場からの地域に対する考えや思いに触れ、より充実した活動の存続と住民主体となる新たな活動の創出の働きかけを行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

地域福祉保健計画推進のための会議や各町内会自治会の役員会への出席、また、シニアクラブやサロンへの訪問を通して生活支援と介護予防に関する現状や課題を地域の方たちと共有しました。さらに、地域福祉保健計画推進の一環である町内会自治会訪問に参加しました。生活支援の面では地域の方たちとともに、高齢世帯が安心感を得られるような活動グループの創出に取り組み、介護予防の面では包括職員とともに、様々な強度や難易度での実施が可能なスクエアステップエクササイズの普及に努めました。また、1~2月にかけて開催した生活支援サポーター養成講座では、参加の3町内会自治会のキーパーソンの方たちと、“自分ごと”をテーマとして、まずは自身の周りからできそうな支えあい活動について話し合いました。

(3) 連携・協議の場

地域福祉保健計画推進のための会議やその分科会、各町内会自治会やちょこボラ団体が高齢者の課題解決のために開催する会議を協議体と位置づけ、積極的に出席いたしました。上半期では元大橋町内会の見守り活動創出のための会議、その後の地域ケア会議が、下半期ではケアマネジャーとちょこボラグループとの懇談会、若竹山手町会マップによる情報共有、生活支援サポーター養成講座がそれにあたります。また、地域福祉保健計画推進のための会議の高齢者等関連分科会、ボランティア分科会では、年間を通し、高齢者が安心安全に暮らし続けることのできる町について検討してきました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

栄区内生活支援コーディネーターの共催にて「栄区ちょこっとボランティア連絡会」を2回開催しました。1回目は認知症の理解や接し方などを、2回目は高齢者の見守りポイントを学び、日頃のつながりが詐欺被害防止にもなることを再確認しました。また、区内ちょこボラ団体リストを作成、その配布にあたっては、地域の活動者と区域で活動されているケアマネジャーとの懇談会を開催し、相互理解と協働への働きかけ、きっかけ作りとしました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ・本郷第三地区支えあいネットワークの事務局として高齢者等関連分科会のメンバーと共に、各町内会自治会の見守り活動の実態を把握し、緩やかな見守りの推進をはかってきました。
- ・本郷第三地区民生委員・児童委員協議会の要請により年間3回の勉強会を実施すると共に、相談しやすい関係作りを心がけてきました。
- ・区・区社協との定例会議、認知症初期集中支援チーム会議各月1回の出席、栄区多職種ワーキンググループへの四半期ごとの出席などを通して、医療・福祉・行政機関との連携構築に努めています。

②実態把握

- ・5月、6月に2回に分けて、元大橋町内会の町内会長、民生委員、シニアクラブ等住民とともにマップを通して地域住民の実態を把握する取り組みを実施しました。それにより元大橋町内会に有志による見守りグループ「ひまわりの会」が誕生し、現在も後方支援を続けています。
- ・昨年度より本郷第三地区支えあいネットワークの中で事務局担当として地域住民と共に町内会訪問を実施し、各町内会の特徴や実態把握につとめてきました。

③総合相談支援

- ・総合相談件数は月平均124件であり、そのうち約6割が介護保険の申請等の相談です。その中でも介護保険サービスを利用して筋力の低下を防ぎたいとの相談も多く、包括の看護師が中心になって立ち上げた転倒予防のインフォーマルサービスや地域の中にある元気づくりステーションに繋げることも多くあります。
- ・介護保険につながらない相談については、その主旨を判断した上で、必要な機関に繋いだり、継続的に相談に乗ることで、解決に導けるようにしています。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

消費者被害防止や成年後見制度の普及・啓発、地域の高齢者が主体的にご自身の生活を考える際に役立つ知識習得の為に権利擁護講座を開催しました。「リフォーム詐欺」「老後破産」「シニアライフノート」「任意後見、家族信託」「シニア向け住宅等」などを行い延べ100名の参加がありました。

成年後見制度が必要な方に対し候補者選定、申立書記入等の申し立て支援を継続しました。成年後見人等が決まったケースには多機関と連携しての支援を開始しています。

② 高齢者虐待への対応

継続した支援が必要なケースは区役所等の関係機関と連携し課題解決に努めました。「介護者のつどい」を年4回開催し、介護する人もされる人も安心できる居場所、情報交換の場となるよう「音楽療法」「腰痛・膝痛体操」「配食サービス」「福祉用具」を行い、延べ67名参加されました。

栄区6包括社会福祉士共催事業として、介護事業所向けの高齢者虐待の予防、早期発見、対応方法等について出前講座を5事業所にて実施。延べ66名の参加がありました。

③ 認知症

今年度も介護者も介護されている方も楽しく学習できるように、歩行補助用具の使い方、配食弁当の試食、音楽療法、腰痛・膝痛体操などを実施しました。

・事業実施回数 4回 (延べ参加人数 67人)

介護保険制度のサービスには乗れない若い認知症の方の居場所づくりと、その介護者への支援を目的に区内ケアプラザ6館共催によりプロジェクトチームを作り「笑風の会」として実施しています。

・事業実施回数 3回 (延べ参加人数 160人)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

・10月にケアマネジャーと地域で活動しているちょこボラ団体との相互理解を深めるための懇談会を生活支援コーディネーターと協働して開催しました。さらにその取り組みを深めるために、3月には地域ケア会議の中で「ケアマネジャーができること、地域のささえあいのできる」と題してグループディスカッションをケアマネジャーと地域住民を中心に約40名で行いました。その際には生活支援コーディネーター連絡会で作った「ちょこボラ団体リスト」をケアマネジャーに提供しました。

②医療・介護の連携推進支援

- ・一昨年から在宅医療相談室と6包括・主マネ分科会と協議し、年間計画の中で、事例検討会や市民向け講座を分担して行っています。中野ケアプラザでは10月に「ロコモ予防について知ろう・学ぼう」という表題で通所介護事業所職員やケアマネジャー、医師、看護師、理学療法士等42名で事例検討会を実施しました。
- ・栄区多職種ワーキンググループの会議に出席し、現在在宅医療相談室を中心に地域医療連携情報共有シートを作成中です。医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会、通所連絡会において資源把握をした上で冊子にする予定です。

③ケアマネジャー支援

新任・就労予定ケアマネジャー研修については、例年通り栄区内の6地域包括支援センターの主任ケアマネジャーが協働し、ケアマネ業務を学ぶ研修と泥亀福祉機器支援センターの見学と2回実施しました。

また、高齢者虐待をいち早く発見する可能性の高いケアマネジャーに向けた虐待防止研修、生活支援体制整備に繋げるためにインフォーマルサービスの中心となる地域のボランティア団体とケアマネジャーの懇談会を実施しました。さらに栄区役所の保険年金課職員に講師を依頼し、「ハートページの読み方講座」としてサービスの利用者負担について、ケアマネジャーとしての知識習得のための講座を実施しました。

- ・事業実施回数 7回 (延べ参加人数 170人)

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

今年度は個別レベルの地域ケア会議を1回、包括レベルを2回実施しています。前半の2回は消費者被害をテーマに実施し、その防止のためには地域ぐるみの見守り活動の大切さを確認した上で、見守りグループの創出を目指すべく生活支援体制整備事業の講座に繋がるように工夫しました。3回目は生活支援体制整備事業の連続講座に参加した地域住民とケアマネジャーとのグループディスカッションを実施し、介護保険制度ではできないことで、地域住民同士の支えあいの中でできることを確認し、地域ニーズとして抽出しました。今後さらに地域住民の中で、支えあいのグループが創出できるように、生活支援コーディネーターや地域活動交流部門と協働し事業展開をしていきたいと思っています。

- ・会議実施回数 3回 (延べ参加人数 86人)

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

栄区役所と共催で介護予防支援・ケアマネジメント従事者研修を実施しました。地域情報がわかるようにちらしを配布したり、個別にインフォーマルサービスの紹介等行い、ケアプランに組み込みやすいよう助言を行っていきました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
<p>【介護予防普及強化事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・中野町とわーくくらぶ・さかえと共催で口腔・栄養・運動の3回シリーズの出前講座とを開催しました。・「健康づくりにボランティア」全4回シリーズで介護予防としてボランティアを勧めていく講座を開催3名のボランティア登録に繋がりました。・地域交流部門共催「寒さに負けない体づくり」2回シリーズで栄養と運動を開催しました。 <p>【出前講座】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域のサロン、シニアクラブ等に、スクエアステップ、認知症予防、健康に関する講座を約9箇所開催しました。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・スクエアステップエクササイズ中心の介護予防グループでは講師派遣等運営の支援を、年間を通して行ってきました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について
<ul style="list-style-type: none">・建物、設備面において老朽化が進んでおり年々突発的な修繕が増えていますが、市民利用施設として安全性の確保と、良好な機能の保持を目的として建物・設備の適切な維持管理に努めました。空調・電気設備から機械警備・エレベーター・自動ドア等、定期的に保守点検を実施する委託契約をそれぞれ専門業者と締結しており、点検時には業者から設備状態について聞き取り、常に予防保全を心掛けました。また月に1度の全館定期清掃と日常清掃、施設の周りの植栽の剪定作業や消毒も専門業者に委託し、常に清潔な環境を提供できる体制を整えています。・職員一人ひとりが各部の日常的な点検・整備・美化の意識を持ち、快適で安全な空間づくりに取り組みました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・多職種の専門性を有する地域ケアプラザの機能を発揮できるよう、常に部門間で連携を緊密に取り、地域・個人の支援にあたるよう取り組みました。
- ・節電対策、物品購入時の十分な検討など運営を行うための経費節減、経営努力に努めました。

(3) 苦情受付体制について

- ・法人の苦情解決規定、また事業所の「苦情対応マニュアル」に従い対応します。各部門に「相談・苦情窓口」を設け、受け付けた職員が相手の話を良く伺い上司に報告、部門により対応できる内容か、現場職員（所長・副所長・部門管理者・担当職員）で構成する内部の苦情対策委員会あるいは、法人の苦情対策委員会であるか、行政機関への申し立てが必要であるか等を迅速に判断し対応します。また申し立て・対応内容は詳細に記録し、内容に応じて関係機関に報告します。いただいた苦情は、真摯に受け止め業務改善に活かします。
- ・館内にご意見箱を設置し、ご意見ご要望を申し出やすい環境を整えています。また定期的に利用者アンケートを実施し、環境の改善やサービス体制の見直しに繋げました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・防犯対策においては、警備会社に委託し機械警備で対応しています。職員は、要施設箇所の確認を行い防犯に努めました。緊急時には、どの職員でも対応出来るよう、事故対応マニュアルを準備し、連絡先なども管理しています。
- ・消防計画に基づき防災訓練（火災、地震）を実施しました。（年3回）

(5) 事故防止への取組について

- ・ヒヤリハットに取り組み、また職員全員でその事例を共有することによって大きな事故に結びつかないように努めました。
- ・副主任以上で構成されるリスクマネジメント委員会では、事故の内容に関わらず部門を超えて問題を共有しサービスの内容、職員の知識技術とあらゆる面で改善、向上に結びつくように努めています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報漏えい防止チェックシートを活用し、職員意識を高めるために年度当初に職員研修を実施しました。
- ・個人情報に該当する書類を外部に発送する際（FAX、郵便物）はダブルチェック体制で作業、確認を行い、漏洩防止に努めました。
- ・ケースファイル等の個人情報が含まれる書類については、原則として外部への持ち出しは行わないようルール化しています。
- ・施設内で活動するボランティア、実習生には、事前に活動中に知り得た個人情報の守秘義務について説明しています。

(7) 情報公開への取組について

- ・ケアプラザでの業務、文書は情報公開の対象となることをふまえ、適切な記録、報告書の作成を行いました。
- ・ホームページ上において運営状況や自主事業を含む福祉保健活動に関して、常に最新情報が発信できるよう更新に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・職場内において研修を実施し、職員個々の人権問題に対する意識の向上に努めました。地域に対しても、「障害理解」「認知症の理解」などをテーマとした講座や、勉強会などを開催しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

職員全員が徹底した分別とごみを出さない努力をしています。例えば使用済みコピー用紙は裏面も使用し、コピー機に合わない紙はメモ用紙として使用しました。メモが済んだものは切り裂いて「紙ごみ」とし、極力「生ごみ」として出さない等、基本を守るようにしています。さらに生ごみ処理機を設置し、堆肥化した生ごみを併設施設の有機農業に利用することによってごみの減量化に取り組みました。また、全館で利用者が使用しない廊下等での電気は消灯、エアコンは停止しました。夏場・冬場の冷暖房は省エネ設定温度としています。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

包括3職種（3名・常勤）
予防プランナー1名（1名・非常勤）

《目標に対する成果等》

栄区役所と共催で介護予防支援・ケアマネジメント従事者研修を実施しました。地域情報がわかるようにチラシを配布したり、個別にインフォーマルサービスの紹介等を行い、ケアプランに組み込みやすいよう助言を行っていきました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
211	210	193	199	193	191
10月	11月	12月	1月	2月	3月
209	202	193	197	189	199

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- 管理者 : 1 名
- 常勤専従 : 4 名
- 非常勤専従 : 1 名
- 非常勤兼務 : 1 名

《目標に対する成果等》

1. 関係機関と連携、協働を推進する

2018年4月に介護報酬の改定が行われ、医療機関との連携を評価される加算が新設されました。この加算の算定に取り組むにあたり、医療機関との連携・協働が必要不可欠となり、より一層、医療関係者と顔の見える関係性を構築できたと感じています。

地域包括ケアシステムにおける医療と介護の連携については、ケアマネジャーの役割は大きなものがあります。利用者が安心して在宅での生活が過ごせるよう協働を推進できるよう努めました。

2. ケアマネジャーとしての質の向上を図り、利用者の望む生活に添ったケアマネジメントの提供が出来るよう努める

各職員が、専門職としての役割を果たせるよう多くの外部研修に参加し自己研鑽に努めました。事例検討会など計画的な研修会を実施しチーム力の強化も図るよう努めました。

また、新たな取り組みとして他法人が運営する居宅支援事業所との合同研修会を開催致しました。研修会の主催側の立場を経験したことで、各職員の研修会参加の意欲を高めることができました。

お一人お一人の人生に寄り添う支援者として常に真摯に取り組み、これからも、丁寧な支援を心がけ、この地域の皆様から信頼されるケアマネジャーになれるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 費用の徴収はしていません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

3. 特定事業所加算Ⅱの算定

利用者や家族が休日や夜間でも安心して生活できるよう、24時間の連絡体制を確保し相談支援に取り組みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
164	156	157	161	165	161
10月	11月	12月	1月	2月	3月
167	170	173	175	168	169

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 送迎 ●入浴 ●食事

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分【1回あたり】		2割負担分【1回あたり】	
(要介護1)	691 円	1382 円	
(要介護2)	815 円	1631 円	
(要介護3)	946 円	1893 円	
(要介護4)	1075 円	2150 円	
(要介護5)	1204 円	2409 円	

- 食費負担 750円
- 入浴加算 53円【1回】
- 口腔機能向上加算 160円【1回】
- サービス体制強化加算I(イ) 19円【1回】
- 中重度者ケア体制加算 48円【1回】
- 生活機能向上連携加算 214円【1月】

※ その他、利用実績に応じて介護職員処遇改善加算（I）が付きます。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:40～16:40

《職員体制》

- 管理者 1名 ● 生活相談員 4名
 - 介護職員 15名
 - 看護職員2名 ● 機能訓練指導員 4名
- ※ いずれの職員も介護予防通所介護職員と兼務

《目標に対する成果等》

- 季節感のあるデイルームにし、利用するのが楽しいと感じられる雰囲気づくりに努めました。
- 生活とリハビリの理念の基、寝たきり・閉じこもりを作らない取り組みを行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 併設の障害者施設 SELP・社との交流が盛んに行われて、お互いに良好な関係性を築いていきます。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
743	765	774	807	857	842
10月	11月	12月	1月	2月	3月
887	863	777	730	817	915

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 生活向上グループ活動

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | |
|---|--------------|----------------|
| ● | 1割負担分【1月あたり】 | 2割負担分【1月あたり】 |
| | (要支援1) 1765円 | 3530円 |
| | (要支援2) 3620円 | 7240円 |
| ● | 食費負担 | 750円【1回】 |
| ● | 生活向上グループ活動加算 | 107円【1月】 |
| ● | サービス体制強化加算Ⅰ | 77円(要支援1)【1月】 |
| ● | サービス体制強化加算Ⅱ | 154円(要支援2)【1月】 |
| ● | 生活機能向上連携加算 | 214円【1月】 |

※ その他、利用実績に応じて介護職員処遇改善加算（Ⅱ）が付きます。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:40～16:40

《職員体制》

- | | | | | | |
|--------|----|-----------|----|--------|-----|
| ● 管理者 | 1名 | ● 生活相談員 | 4名 | ● 介護職員 | 15名 |
| ● 看護職員 | 2名 | ● 機能訓練相談員 | 4名 | | |

《目標に対する成果等》

- ご利用者のADLの維持、向上を図りました。
- ケアプラザを利用するのが楽しいと感じられる雰囲気づくりに努めました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 知的障害者施設【授産】を併設しているため、パン、お菓子、うどん、陶器等の買い物をする事ができます。
- レクリエーションとして、うどんやパン、陶器を実際につくることができます。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11	11	10	10	12	15
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	14	12	13	12	17

平成30年度「中野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,004,500	2,217,457	20,221,957	20,221,957	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0		0	
自主事業収入			0	159,400	△ 159,400	
雑入	450,000		450,000	138,532	311,468	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	137,993	△ 137,993	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他（指定管理料充当分）	0		0	539	△ 539	
その他（施設使用料相当額 法人負担分）	3,587,500		3,587,500		3,587,500	
その他（提案時控除 法人負担分）			0		0	
収入合計	22,042,000	2,217,457	24,259,457	20,519,889	3,739,568	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,000,000	0	12,000,000	11,875,167	124,833	
本俸	7,400,000		7,400,000	7,485,137	△ 85,137	
社会保険料	1,300,000		1,300,000	1,193,081	106,919	
手当計	2,885,000		2,885,000	2,845,599	39,402	
健康診断費	84,000		84,000	21,507	62,493	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	9,750	△ 3,750	ハマみれんど
退職給付引当金繰入額	135,000		135,000	320,094	△ 185,094	
その他	190,000		190,000	0	190,000	
事務費	786,858	0	786,858	1,501,459	△ 714,601	
旅費	5,000		5,000	3,700	1,300	
消耗品費	120,000		120,000	343,643	△ 223,643	
会議備い費	50,000		50,000	0	50,000	
印刷製本費	150,000		150,000	84,592	65,408	
通信費	135,000		135,000	169,460	△ 34,460	
使用料及び賃借料	88,400	0	88,400	94,620	△ 6,220	
横浜市への支払分	88,400		88,400	86,220	2,180	
その他			0	8,400	△ 8,400	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	120,000		120,000	61,260	58,740	
職員等研修費	30,000		30,000	30,030	△ 30	
振込手数料	10,000		10,000	3,843	6,157	
リース料	35,000		35,000	596,447	△ 561,447	
手数料	10,000		10,000	0	10,000	
地域協力費	10,000		10,000	41,500	△ 31,500	
その他	23,458	0	23,458	72,364	△ 48,906	
事業費	744,000	0	744,000	263,183	480,817	
運営協議会経費	42,000		42,000	39,421	2,579	
指定管理料充当 事業	702,000		702,000	223,762	478,238	
管理費	6,627,142	2,217,457	8,844,599	8,398,068	446,531	
建築物・建築設備点検	36,000	0	36,000	102,384	△ 66,384	
光熱水費	3,500,000	0	3,500,000	2,999,653	500,347	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	1,800,000		1,800,000	1,784,288	15,712	
修繕費	474,000	2,217,457	2,691,457	2,691,457	0	
機械設備費	100,000		100,000	72,530	27,470	
設備保全費	526,000	0	526,000	701,720	△ 175,720	
空調衛生設備保守	150,000		150,000	0	150,000	
消防設備保守	110,000		110,000	103,522	6,478	
電気設備保守	120,000		120,000	119,448	552	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	47,216	2,784	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	96,000		96,000	431,534	△ 335,534	
共益費			0	0	0	
その他	191,142		191,142	46,036	145,106	
公租公課	960,000	0	960,000	950,013	9,987	
事業所税			0	0	0	
消費税	960,000		960,000	950,013	9,987	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	21,118,000	2,217,457	23,335,457	22,987,890	347,567	
差引	924,000	0	924,000	△ 2,468,001	3,392,001	

自主事業費収入	300,000		300,000	159,400	140,600	自主事業への参加料等
自主事業費支出	300,000		300,000	223,762	76,238	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 64,362	64,362	
管理許可・目的外使用許可収入	130,000		130,000	137,993	△ 7,993	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	8,400		8,400	8,400	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	121,600		121,600	129,593	△ 7,993	

平成30年度「中野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	29,659,000	0	29,659,000	29,659,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入			0	3,000	△ 3,000	
雑入	610,000	0	610,000	180,840	429,160	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	180,840	△ 180,840	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	36,209,000	0	36,209,000	35,782,840	426,160	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,055,000	0	31,055,000	23,399,943	7,655,057	
本俸	18,000,000		18,000,000	11,215,350	6,784,650	
社会保険料	3,000,000		3,000,000	2,930,170	69,830	
手当計	9,000,000		9,000,000	8,431,901	568,100	
健康診断費	25,000		25,000	14,547	10,453	
勤労者福祉共済掛金	25,000		25,000	23,250	1,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,000,000		1,000,000	763,221	236,779	
その他	5,000		5,000	21,504	△ 16,504	
事務費	545,912	0	545,912	1,176,551	△ 630,639	
旅費	20,000		20,000	31,460	△ 11,460	
消耗品費	50,000		50,000	17,939	32,061	
会議贈り費	5,000		5,000	0	5,000	
印刷製本費	20,000		20,000	39,534	△ 19,534	
通信費	80,000		80,000	275,886	△ 195,886	
使用料及び賃借料	20,000	0	20,000	22,918	△ 2,918	
横浜市への支払分	20,000		20,000	22,918	△ 2,918	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	75,000		75,000	133,230	△ 58,230	
職員等研修費	50,000		50,000	14,350	35,650	
振込手数料	5,000		5,000	7,366	△ 2,366	
リース料	210,912		210,912	627,830	△ 416,918	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	10,000	0	10,000	6,038	3,962	
事業費	2,118,572	0	2,118,572	435,029	1,683,543	
協力医	630,000		630,000	210,000	420,000	
指定管理料充当 事業（包括）	1,028,572		1,028,572	13,532	1,015,040	
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	60,497	248,503	
管理費	1,879,516	0	1,879,516	1,642,940	236,576	
建築物 建築設備点検	10,000		10,000	27,216	△ 17,216	
光熱水費	875,000	0	875,000	797,376	77,624	
電気料金			0	334,706	△ 334,706	
ガス料金			0	188,294	△ 188,294	
水道料金			0	274,376	△ 274,376	
清掃費	450,000		450,000	474,304	△ 24,304	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	
機械警備費	20,000		20,000	19,279	721	
設備保全費	131,500	0	131,500	186,528	△ 55,028	
空調衛生設備保守	37,500		37,500		37,500	
消防設備保守	27,500		27,500	27,518	△ 18	
電気設備保守	30,000		30,000	31,752	△ 1,752	
害虫駆除清掃保守	12,500		12,500	12,550	△ 50	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	24,000		24,000	114,708	△ 90,708	
共益費			0	0	0	
その他	267,016		267,016	12,237	254,779	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	35,599,000	0	35,599,000	26,654,463	8,944,537	
差引	610,000	0	610,000	9,128,377	△ 8,518,377	

自主事業費収入	100,000		100,000	3,000	97,000	自主事業への参加料等
自主事業費支出	100,000		100,000	225,029	△ 125,029	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 222,029	222,029	

管理許可 目的外使用許可収入			0		0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可 目的外使用許可支出			0		0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可 目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名:中野地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	9500	6107	3393	33000	36791	-3791	80000	98078	-18078	3000	3431	-431
	その他	0	5175	-5175	370	561	-191	17788	8049	9739	350	526	-176
	介護予防ケアマネジメント費		5175	-5175			0			0			0
	事業・負担金収入		0	0			0	16000	7415	8585	350	526	-176
				0			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0	370	561	-191	1788	634	1154			
	収入合計(A)	9500	11282	-1782	33370	37352	-3982	97788	106127	-8339	3350	3957	-607
支出	人件費	3700	2507	1193	28000	27202	798	78000	76305	1695			
	事務費			0	1800	1936	-136	11000	12511	-1511			0
	事業費			0	700	937	-237	16000	18634	-2634			0
	管理費			0			0			0			0
	その他	5000	7211	-2211	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	5000	7211	-2211			0			0			0
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	支出合計(B)	8700	9718	-1018	30500	30075	425	105000	107450	-2450	0	0	0
	収支 (A)-(B)	800	1564	-764	2870	7277	-4407	-7212	-1323	-5889	3350	3957	-607

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
なかのカフェ (介護者のつどい) 4回	①地域	24655	地活	5100		15794		8861	
	②20名程度		包括						19555
	③100円		介護						
			生活						
権利擁護講座 「老後破産にならないた めに」	①地域	5540	地活			5540			
	②27名		包括						5540
	③無料		介護						
			生活						
権利擁護相談会	①地域	3341	地活			3341			
	②2名		包括						3341
	③無料		介護						
			生活						
権利擁護講座 『シニアライフノートを書 いてみよう』	①地域	1240	地活					1240	
	②16名		包括						1240
	③無料		介護						
			生活						
地域ケア会議 「地域でなくす消費者被 害」	①地域	591	地活					591	
	②18名		包括						591
	③無料		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ふれあいの会	地域	73,097	地活	8747	64350			68997	4100
	30名程度		包括						
	原則100円		介護						
			生活						
おたすけボラ・中野交流会	地域	1,600	地活	1600					1600
	特になし		包括						
	特になし		介護						
			生活						
なかのDEライブ	地域	4,386	地活	4386				4386	
	特になし		包括						
	特になし		介護						
			生活						
地域力UP講座「地域を知ろう、歩こう、育もう」	地域	24,777	地活	4777	20000		11136	11401	2240
	20名程度		包括						
	1000円(250円×4回)		介護						
			生活						
地域力UP講座第2弾「地域の歴史を知ろう、歩こう」	地域	1759	地活	1759				1199	560
	20名程度		包括						
	特になし		介護						
			生活						
地域力UP講座第3弾「荒井沢の秋の草花を愛でる」	地域	8280	地活	4530	3750		5568	2152	560
	20名程度		包括						
	250円		介護						
			生活						
貸館利用団体合同連絡会	地域	5976	地活	5976				5976	
	30名程度		包括						
	無料		介護						
			生活						
貸館調理室利用団体合同連絡会	地域	2000	地活	2000				2000	
	30名程度		包括						
	無料		介護						
			生活						
山田陽治さんの自然の楽校(4月、3月)	親子	25473	地活	2473	23000		16705	5718	3050
	45名程度		包括						
	500円		介護						
			生活						
パパママ一緒に学ぼう！親子ですぐに役立つ防災の知恵	地域の親子	6128	地活	6128			5568		560
	20名程度		包括						
	無料		介護						
			生活						
おせち料理で食そう「こんにやくづくり講座」	地域	12000	地活		12000			12000	
	15名程度		包括						
	600円		介護						
			生活						
小学生工作教室「クラフトテープでカゴ作り」	小学生	7796	地活	2196	5600			7796	
	15名程度		包括						
	350円		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
からだと心にやさしい スープ講座	地域	31,200	地活	200	31000			30164	1036
	30名程度		包括						
	1000円		介護						
			生活						
若年性認知症の集い 「笑風の会」	地域	27,548	地活	22148	5400			22064	5484
	50名		包括						
	300円		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
元大橋町内会においてのマップ作り講座(全3回)	①元大橋町内会	6,628	地活					
	②10名		包括					
	③無料		介護					
			生活	6,628				1,200
ケアマネジャーとちよこボラグループとの懇談会	①CMと中野CP圏域のちよこボラグループ	4,877	地活					
	②各15名ほど		包括					
	③無料		介護					
			生活	4,877				2,342
若竹町会においてのマップ作り講座	①若竹山手町会	2,300	地活					
	②8名		包括					
	③無料		介護					
			生活	2,300				300
生活支援サポーター養成講座 Let'sちよいサポ～2019～(全3回)	①地域	44,692	地活					
	②50名(第1回のみ)		包括					
	③無料		介護					
			生活	44,692			38,979	
上郷東地域見守りネットワーク懇談会	①地域	2,000	地活					
	②2名		包括					
	③一人1,000円		介護					
			生活	2,000				
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元大橋町内会 におけるの マップ作り講座	元大橋町内会においては、町内会長と民生委員との情報共有が十分にできているとは言えず、今のままでは取り組むべき課題の抽出は困難だと思われます。そこで、この講座では町内会の一部200世帯の地図を用意し、そこに居住している住民について、参加者全員で情報共有ができる機会にできればと思い開催しました。また、日頃から活動が活発なシニアクラブを巻き込んだ見守り活動につながっていくことも目標としました。	5/30、6/13、6/20 (全3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー とちょこボラさ んとの懇談会	いくつかの町内会自治会には、主に高齢世帯の困り事を支援する“ちょこボラ”グループ、いわゆるインフォーマルサービスがあります。その活動の多くは庭木の剪定や草取りだが、ケアマネジャーやヘルパーの方たちだからこそ把握している困り事を共有・協働することで、高齢者がより安心安全な暮らしを続けられるとの思いで開催しました。また、「できること」「できないこと」を相互理解していただくきっかけになればとの思いもあります。	10月12日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若竹町会におい でのマップ作り 講座	若竹町会には熱心にボランティア活動をされている方たちがいらっしゃるが、その活動は個々に行われています。せっかくのその活動をもっと可視化し地域住民に周知すること、活動者同士もつながることを目的とし開催しました。まずは地域の活動者の方たちがそれぞれに把握している情報を、マップをツールとして持ち寄り、情報共有と課題抽出を行いました。	12月11日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活支援サポ ーター養成講座 Let'sちょいサポ ～2019～	中野地域ケアプラザ圏域（包括エリア）には15の町内会自治会があるが、なんらかの「見守り機能」のある活動への取組や理解にはまだ差があると思われる。そこで、“見守り”のためには日頃からの”顔の見える関係”が必要であり、その構築のために、高齢者の困り事を我が事としてとらえ、5～10年後の自身の住みやすさを考えてみることを提案。3連続講座とし、第1回は聖徳大の豊田宗裕教授によるオープンセミナー、第2・3回は中野町、若竹山手、みどりが丘の3町内会対象で「どんな町だったら住み続けられるか」「自分たちにできそうなことは何なのか」等をグループワークにて話し合った。	平成31年1月17日・ 30日・2月15日 全3回 ※ただし、都合により若竹山手町会のみ第2回は31日実施。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあいの会	地域の交流の場として、茶話会を中心に開催。ボランティアの活動の発表の場として、ボランティア活動の導入の場としても機能。また包括支援センターの介護予防の啓発の場としても機能しています。	概ね毎月2階程度開催（22回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おたすけボラ・中野	地域の高齢者、または障がいのある方の生活上のちょっとした困り事のお手伝いをするボランティア活動。地域で暮らす高齢者の生活をサポートし 支えあう地域づくりを目指して、ケアプラザが事務局となり定例運営会議などを行いました。	定例会 年6回 (4・6・8・10・12・2月) 活動 随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこのひろば	地域の子育て活性化。親子の交流の場の提供を目的としている。おやこ CLUB チューリップ との共催により、地域の子育て中の親子を対象にケアプラザを会場として交流の場を提供。レクリエーションを通して親子同士の親睦を図る場をつくりました。	年4回開催 (5、7、10、2月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スープの会	<ul style="list-style-type: none"> ・辰巳芳子氏の「良い食材を伝える会」と共催し、地域住民に「身体と心にやさしい」食事の提案・提供を目的として実施食の楽しさや喜びを味わってもらう機会としました。 ・高齢者・病人・障がい者の介護、介助や離乳食などの保育に携わる従事者にも、安全で健康促進に繋がるスープ作りの講座で得た知識を、施設や家族などの現場で活かしてもらうことをねらい、実施しました。 	年間6回開催 (5・7・9・11・1・3月)

平成30年度 自主事業報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
若年性認知症の集い「笑風の会」	若年性認知症の方と家族の集いを栄区内のケアプラザ6館及び関係機関と共催で開催。 ご家族の集いで悩みなどを話し合う場とご本人向けのレクの二本立てで行っています。 会の運営支出金は、6館で持ち回りで実施。今年度は6月の集いが中野ケアプラザの会計担当となりました。	年間3回開催 (6・11・2月) 共催：栄区ケアプラザ6館、認知症とその家族の会 神奈川支部 ほか

事業名	目的・内容	実施時期・回数
20周年記念祭	施設開所20周年の節目に、改めて地域の方々に感謝の意を表し、今後も繋がりを一層深められるようお願いを込めて開催。 模擬店、ステージ発表、リハビリ体験、健康測定、介護相談コーナー、感謝のセレモニー など多くの催しを企画。 中野ケアプラザの全館、杜の茶屋、杜のサポート館の3会場に分かれて開催。地域のボランティア団体にも模擬店出店や警備、記録担当などにご協力いただき、1000人を超える来館者でにぎわいました。	12月実施 協力：包括、居宅、生活支援、通所(デイ)、SELP・杜の茶屋、杜のサポート館

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域力UP講座 (4回連続)	・地域住民の交流・仲間づくりの場の提供や地域活動参加へのきっかけづくりのサポートを目的として実施しました。 農・自然・古道・川の4つのテーマで地域の魅力を歩いて見つける講座。地域への愛着を深め、参加者同士とケアプラザとの繋がりを構築しながら自主グループ化や地域活動を始めるきっかけ作りをサポートしました。	① 5/22 農を知る ② 5/29 自然を知る ③ 6/12 古道を知る ④ 6/19 川を知る (共催) 包括・生活支援

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくりにボランティア	・シニアの健康づくりの一環として、またボランティア活動のきっかけづくりをねらい実施しました。 ① シニアの健康づくりにはコツがある ② 健康づくりのおさらい(口腔・栄養編) ③ 日頃の動作が運動になる ④ やってみよう! ボランティア	4回実施 ① 10/3 ② 10/17 ③ 10/24 ④ 11/7 (共催) 包括・生活支援

平成30年度 自主事業報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Let'sちよいサポ～2019	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた町で誰もが住み続けられるような「お互い様」の支えあいづくりの提案 <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域の支えあいにはなぜ必要なの？ ② 私たちの住む町ってどんなところ？ ③ 自分たちにできそうなこと、できることって何？ 	<ol style="list-style-type: none"> ① 1/17 講師：豊田宗裕氏 ② 1/30 ③ 2/15 講師：戸潤弘志氏 <p>(共催) 包括・生活支援</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こんにやく作り～おせち料理で食そう～	<p>SELP・杜の事業協力のもと、食品加工部門の利用者を講師とし、こんにやく作り講座を実施。講座を通し、複合館である障がい者施設SELP・杜の活動を地域に知ってもらう機会や参加者の交流の場としました。</p>	1回（12月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て応援講座～パパママ一緒に学ぼう！親子ですぐに役立つ防災の知恵～	<p>地域の子育て中の親子の交流・仲間づくりや育児応援を目的として、子育て支援拠点「にこりんく」と共催で実施。今年度は、いざという時の対応を知り、改めて防災について考えるきっかけづくりの場を提供。普段ケアプラザを利用する機会の少ない若い家族にもケアプラザを知ってもらう機会としました。</p>	1回（1月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
からだと心にやさしいスープ講座	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に「身体と心にやさしい」食事の提案・提供を目的とし、食の楽しさや喜びを味わってもらう機会としました。 ・高齢者・病人・障がい者の介護、介助や離乳食などの保育に携わる従事者にも、安全で健康促進に繋がるスープ作りの講座で得た知識を施設や家族などの現場で活かしてもらうために、スープの会のスタッフを講師役に招き、単発の体験講座を実施しました。 	1回（2月）

平成30年度 自主事業報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	ボランティア支援・育成を目的とし、横浜市介護支援ボランティアポイント事業「よこはまシニアボランティアポイント」の登録研修会を栄区内ケアプラザ6館で協力して隔月輪番制で実施。区内で活動しているボランティアの方が参加しやすい仕組みとなっており、この事業をきっかけに新しい活動者の発掘にも繋がっています。	年1回（11月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山田陽治さんによる「自然の楽校」	親と子のふれあいや地域愛着の形成を目的としています。自然観察指導員の山田陽治氏を講師として招き、栄区の自然の豊かさを知り、またその自然の中で親子でふれあい・遊ぶことのすばらしさを通じて、自らが暮らす地域への愛着形成を促しました。今年度は、4月に春に芽吹く野草に興味を持ち、それを探し・味わう楽しさを知っていただく企画を実施しました。	1回（4月） ※3月に企画した春を探す講座は悪天候で中止に終わりました。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生工作教室～クラフトテープでカゴづくり～	・地域の子どもの交流の場・余暇支援を目的として実施。 地域の小学生に、普段あまり足を運ぶ機会のないケアプラザを利用し、工作を体験してもらうことにより、自分の手でものを作り上げる喜びを味わってもらうきっかけとしました。	1回（8月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域力UP講座 （第2弾） ～地域の歴史を知ろう、歩こう～	地域住民の交流・仲間づくりの場の提供や地域活動参加へのきっかけづくり、自主グループ化へのサポートを目的とし、連続講座の続編として地域の歴史や古道についての知識を知り、地元愛を深める講座を実施しました。 講師：埋蔵文化財センター 鹿島氏	1回（7月）

平成30年度 自主事業報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域力UP講座 (第3弾) ～荒井沢の秋の 草花を愛でる ウォーキング～	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流・仲間づくりの場の提供や地域活動参加へのきっかけづくり、自主グループ化へのサポートを目的として実施。 ・講師役には地域の「いたち川OTASUKE隊」の和久井氏を招き、地域の自然や草花について学び、地元への愛着を深める機会としました。 	1回(9月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なかのDEライブ ～喜楽に文化祭～	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館を利用する地域住民の交流、情報交換、活動内容発表の場の提供を目的として昨年度より実施。 ・日頃からケアプラザを利用して活動している団体向けに活動内容の発表・紹介の機会を提供し、地域住民誰でも気軽に参加・観覧できる文化祭形式で開催しました。(ステージ発表7団体、パネル発表2団体、体験コーナー2団体) 	1回(9月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育 (本郷小4年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成、障がい理解、高齢者理解、世代間交流を目的とし、学齢期から地域福祉に興味・関心を持ってもらうことをねらい実施しました。 ① ケアプラザについて知ろう ② 高齢者理解Ⅰ(高齢者の立場になってみよう!) 装具を着けた疑似体験、車椅子、リフト車体験 ③ 高齢者理解Ⅱ ・「デイサービスの利用者と交流」(1クラスごと) ・ケアプラザ、SELP・杜見学 	①・② 11月1回 本郷小学校体育館 協力:いでたち 区社協 ③ 3/5, 3/7, 3/8 中野地域ケアプラザ 協力:SELP・杜 (全4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育 (本郷小1年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成、障がい理解、高齢者理解、世代間交流を目的とし、学齢期から地域福祉に興味・関心を持ってもらうことをねらい実施しました。 【内容】 ・地域の高齢者とあそぼう! (昔遊び:あやとり、コマ、割り箸鉄砲、お手玉など) 	12/3 本郷小学校体育館 協力:地域のシニア、民生委員、地区社協、区社協、陽春の里ほか

平成30年度 自主事業報告書

横浜市中野地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
福祉教育 (桜井小3年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成、障がい理解 ・育てた大豆がどのように加工されるか？SEL P・杜の協力のもと、豆腐部門の見学や豆を加工して出来る製品への理解を深める機会としました。 	11月 SEL P・杜（協力）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館利用団体 合同連絡会	貸し館を利用する地域住民の交流・情報交換や、備品などの取り扱いや管理方法などの確認。清掃作業や交流会を通して貸館利用に関する意見等を伺う機会としました。（避難経路も確認）	1回（8月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館調理団体連 絡会 (Xmas' クリー ンパーティー)	貸し館の調理室を利用する地域住民の交流・情報交換の場を提供するため、実施。食中毒予防への知識の共有、備品等の取り扱いや管理方法などの確認・清掃の仕方の共有をする機会となりました。	1回（12月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上郷東地域見守 りネットワーク 懇談会	中野地域ケアプラザ包括エリアには上郷東地区の上郷町（千載橋以北）、みどりが丘、青葉が丘、上郷台共同住宅の4自治会が含まれており、月1回の定例会に生活支援コーディネーターが出席しています。生活支援体制整備事業の開始とともに野七里地域ケアプラザと協働していく機会も増えてきており、この懇談会も地域の活動者や民生委員さんと情報交換する場のひとつとなっています。	8月22日